

プリンセスマーケティング

未来の
見せ方が
違う

- 根拠のない自信
男性: 上手いことを
デフォルト
- 自信がない状態
女性: ダメだったことを
デフォルト
- じわじわ 効く
魔法として 見える
男性: 結果
女性: 安心、自信がもてる
を 保証する
- レベルアップや
努力ではない!
コミットメント
- 8 年前とは 違う大人のいい女
年齢に 合う
大人の 本来の 自分
- おしゃれを あきらめたくない
今だから できること
- いくつになっても お姫様でいたい

関係性の
築き方が
違う

- 同じチーム仲間でも
ライバル
男性: 仲間であっても
縦の 関係を 築く
- 「私たち」という
価値観を 共有
女性: 家臣であっても
横の 関係を 築く
- 面倒なく
自由に 選べるよう
に 設計する
比較検討 2 ガテでも
自分で 選んだ 気分は
嬉しい
- いかに 価値観を 伝えられるか?
が 勝負の 分かれ目
- 特典の つけ 過ぎや
中途半端な プレゼントは
逆効果

何を信じるか? が
違う

- 男性: 騙されないように
比較検討の 加点法
- 女性: 運命の 出会いに ときめき
衝動買い 減点法
- 男性: 実質的中身
女性: 共感できる イメージ
信じるもの
- 第一印象が
超重要
読まずの ではなく
感じさせる
売手が する 事
- 私に わかりやすく
説明してくれる 人
信頼する 時
- 男性: 客観的に 比較
女性: 五感で 感じる
理解について
- シンプル な
表や グラフ
イメージ
- 飛ばし 読み 想定

意思決定の
中身が
違う

- 武器を 買う
男性: しっかり 比較検討
して 決めてから 買いに行く
- 魔法を 買う
女性: 運命の 出会いを 楽しみ
とりあえず 試してみる
- 男性: たった 1 つ
女性: お姫様の 数だけ
- 買物の中で
どんな 体験を 提供
出来るの が
大切
ゴール
- 男性: 「正しい」 情報を 提供
女性: なぜこれを 選ぶべきか 伝える
必要要素
- 男性: 情報の 収集力
と 客観的な 整理力
女性: 「自分に ぴったりの」
を 提案する 力
売り手に 求める こと

求める
ストーリーが
違う

- 男性: ヒーロー ストーリー
冒険の中で 成長して
英雄に なりたい
- 女性: シンデレラ ストーリー
新しい 世界で
自分らしく 生きたい
※ 今の 自分は 偽の 姿
- 女性 ストーリー 例
・ 本来の 自分は 何者か 自覚
・ 本来 自分が いるべき 場所に 近づく
・ 古い 場所に 押し 留めようとする 力と 戦う
・ 新しい 世界で 自分らしく 生きる
- 「歪んだ鏡」には 何が 映っているか?
分かれば ニーズに 合う 商品 作れる
- 年齢 問わず 不本意な 現実
に 生きていると 感じているので
本来の 自分を 取り戻す 事に
意味がある

登場人物の
設定が
違う

- 男性: 武器や 装備を
増やして レベルアップ
自分の 力で
一歩ずつ
登り 詰める
- 女性: 魔法で 一気に
次元の 違う 世界へ
本来の 場所に
戻るのだから 努力は 不要
- 不満の 正体は 分からないが
新しい 自分を 諦めきれない
これまでと 全く
違う 人生を 求めている
- 男性: 賢者や メンター
女性: 過去の しがらみを
断ち 切ってくれる 人
キーパーソンが 違う
- 男性: ライバルや エネミー
女性: これまでの 世界に
押し 戻そうとする 存在
未来への 進路を
妨害する
過去に 引き 戻そう
とする
- 男性: 良き ライバル
協力者
女性: 本来の 自分に 戻る
だけなので 仲間 不要
自分の 力で 人生を 選ぶ
協力して 戦う
同士
自信がもてるよう
共感してくれる 存在
仲間が 違う
- 男性: モテたい! 勝ちたい!
女性: ワタシらしい
興味の 関心が
自分の 内側に向いている
- 【重要】女性に 売る 際は 現状の問題を
指摘するのではなく 承認する 方が
効果的!
- 男性: モテたい
女性: 自分が 自信を
もてる ように なりたい
ネイルアート
- 女性 同士は 優劣をつける のではなく
他人を 鏡にして 自分を 見つめ 続けている
- 「本来の 自分」は 本人しか 分からない
ので 実際に 聞いてみる 事が 大事
- 本来は 丁寧に
生活したい
それが 出来ない 事に
罪悪感を感じる
つかの間の
現実逃避も 有効
- 役割 アイデンティティ
に 訴える のも 有効
直接的な 感情の
満足感に 訴える

モチベーション
が
違う

- 男性: モテたい! 勝ちたい!
女性: ワタシらしい
興味の 関心が
自分の 内側に向いている
- 【重要】女性に 売る 際は 現状の問題を
指摘するのではなく 承認する 方が
効果的!
- 男性: モテたい
女性: 自分が 自信を
もてる ように なりたい
ネイルアート
- 女性 同士は 優劣をつける のではなく
他人を 鏡にして 自分を 見つめ 続けている
- 「本来の 自分」は 本人しか 分からない
ので 実際に 聞いてみる 事が 大事
- 本来は 丁寧に
生活したい
それが 出来ない 事に
罪悪感を感じる
つかの間の
現実逃避も 有効
- 役割 アイデンティティ
に 訴える のも 有効
直接的な 感情の
満足感に 訴える